

第13回 がん新薬開発合同シンポジウム + 第7回 医療機器開発シンポジウム

# がん治療“新時代”を創造する

## ジェネレーションZ時代 開発の方向性

令和5(2023)年

12月15日(金)  
10:00-17:10

会場：  
JPタワーホール&カンファレンス  
(JR東京駅徒歩1分)



ハイブリッド開催  
事前登録制 参加費無料

会場でのリアル開催とライブ配信によるオンライン参加が可能なハイブリッド開催です。

10月20日から登録開始(予定)

参加登録フォームより  
「会場参加」「オンライン参加」を選択お申込ください。



<https://jointsympo.ncc.go.jp/>

開会の言葉 10:00~10:05

土井 俊彦 国立がん研究センター先端医療開発センター/  
橋渡し研究推進センター

基調講演 10:05~10:35

座長：土井 俊彦

日本からの  
がん医薬品開発の未来に向けて

大津 敦 国立がん研究センター東病院

第1部 10:35~12:10

「新時代の医療技術を創造する  
デジタルプラットフォーム」

座長：土原 一哉・佐藤 晓洋

1 人間拡張技術とヘルスケア・  
医療サービスへの応用事例  
持丸 正明 産業技術総合研究所

2 DX、デジタルデバイスの活用により  
変化する医療提供モデル  
大嶽 浩司 昭和大学/スタンフォード大学

3 生成AIがもたらす医療へのインパクトと  
最新動向  
- ChatGPTからMicrosoft Copilotで激変する医療現場  
西脇 資哲 日本マイクロソフト株式会社

第2部 13:45~15:20

第13回 がん新薬開発合同シンポジウム

「Bio modulation」

座長：布施 望・久保木 恭利

1 腫瘍治療電場療法(TTFields)の  
臨床開発の現況と将来の可能性  
東 久弥 ノボキュア株式会社

2 腸内細菌をターゲットにした  
新たな医療・創薬への挑戦  
寺内 淳 メタジエンセラピューティクス株式会社

3 がん治療における  
マイクロバイオーム研究の方向性  
- MONSTAR-SCREENがもたらした  
ビッグデータの価値と超えるべき限界点  
澤田 憲太郎 釧路労災病院

第3部 15:30~17:05

第7回 医療機器開発シンポジウム

「Digital Therapeutics」

司会：伊藤 雅昭・矢野 友規

1 精神科領域のDTxの取り組みについて  
小川 朝生 国立がん研究センター東病院

2 我が国における  
DTxビジネスの現在地と展望  
阪口 岳 日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA)/  
塩野義製薬株式会社

3 アメリカのDTx市場  
:Pear Therapeuticsの倒産と  
新たな方向性  
清峰 正志 Kicker Ventures

閉会の言葉 17:05~17:10

小西 大 国立がん研究センター東病院

内容・時間は一部変更になる場合があります。最新のプログラムはウェブサイトでご確認ください。